

★アゼルバイジャン共和国の政府と人民に感謝し連帯する動議

2019年10月25-26日、バクーで開かれた第18回非同盟首脳会議は、首題の特別決議を採択した。その内容は次のとおり。

「バンドン原則を遵守し、現代世界の課題に協調し適切に対応しよう」をテーマ開催された第18回首脳会議に参集した首脳は、アゼルバイジャン共和国のイルハム・アリエフ大統領と政府の寛大で親切なもてなしに感謝した。歴史的な非同盟サミットを成功させたアリエフ大統領のリーダーシップを祝福する。

アゼルバイジャン共和国がバンドン10原則に含まれる目的および理想など創設時の諸原則、国連憲章にもられた国際的な規範、法律と目的、原則をしっかりと守る誓約をしたことを高く評価した。またアゼルバイジャン共和国が多国間主義の促進および公正に基づく平和で繁栄した世界の確立にむけたゆまぬ努力を高く評価する。

このサミットで生み出された勢いは、世界的課題への非同盟諸国の協調と適切な対応を確実にするのに役立つ。成果文書に反映されている原則的な立場の有効性と重要性を再確認することで、運動の活性化プロセスを一步前進させた。

相互理解と多様性の尊重の価値を促進するアゼルバイジャン共和国の努力を称賛する。これに関して異文化間の対話を促進するための重要な世界的枠組みとして、アゼルバイジャン共和国大統領の後援のもとで2008年に開始された「バクー・プロセス」の成果を高く評価します。

アゼルバイジャン共和国の独立、主権、領土保全を確固して支持し、その領土の一体性回復を目指したアゼルバイジャン共和国の努力に連帯を表明する。

2019年から2022年までのアゼルバイジャン共和国の非同盟運動の議長を歓迎し、運動の基本的な目的と理想の前進をめざした努力を歓迎する。

(了)